

2022年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



JCI  Junior Chamber International Okayama

ミッション

JCI Mission

トゥ プロバイド リーダーシップ デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide leadership development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピーブル
that empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
to create positive change.

JCIの使命

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

《2022年》

JCI Vision

To be the foremost global network
of young leaders.

JCIビジョン

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

J C 宣 言 文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

《2020年11月5日 世界会議横浜大会 第165回総会にて可決承認》

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

《1960年12月総会決定》

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山JCは、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山JCは、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山JCは、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における(社)岡山青年会議所のあるべき姿」
《1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）》
「岡山JC三信条」

《2009年11月4日総会承認》
《実施期間2010年1月1日～2014年12月31日》

2022年度スローガン

JCI スローガン

LEADING IS OUR DUTY

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

愛が、
希望に変えていく。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

来い！より恋！

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

誰もが輝き
愛溢れる
岡山の創造

公益社団法人岡山青年会議所スローガン

CHALLENGE!!
OKAYAMA

〔目 次〕

I 事業報告 3
 理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事

II 組 織 11
 1. 会 員 11
 2. 組 織 図 13

III 出向者報告 14

IV 委員会活動報告 22

V 会 議 25
 1. 総 会 25
 2. 理 事 会 26

VI 例 会 29

VII 諸 事 業 30

VIII 褒賞関係 31

CHALLENGE!!

OKAYAMA

基本理念 挑戦を続ける限り失敗はない。社会が大きく変化する今こそ、英知と勇気と情熱を持ち、挑戦を続けよう。行動こそ真実。岡山青年会議所の一員であることに誇りを持ち、郷土おかやまを希望溢れる物心共に豊かなまちにするため、今すぐ行動しよう。

基本方針 環境の変化を成長のチャンスととらえ、今こそ積極的に挑戦し続けよう。礼儀礼節と利他の精神を大切に、率先して行動を起こすことができるリーダーシップを磨き続け、希望溢れる郷土おかやまをつくりあげよう。

地域の宝である子供達の郷土愛を育み、多くの団体共に未来に夢を描けることのできる活動を行うと同時に、我々の同世代からは共感を集め、かっこいい憧れの存在になり得るJCブランドを確立しよう。

青年として、地域経済を発展させていくために、つなげる存在となり、主体性をもって地域貢献をしよう。豊かな心を育むために郷土おかやまに誇りをもち、経済と道徳の本質を捉え地域を巻き込む活動に挑戦しよう。

成長の契機であり、生涯の財産ともなる出会いの価値を高めるため、感謝の気持ちを持ち「おもてなしの心」をもって出会いの場の創出に挑戦しよう。「うらじゃ」の進化を促すことで、岡山の夏の風物詩となるよう挑戦しよう。

数少ない交流の場であると参加者が自覚し、皆が参加したいと思えるような学びや成長の場を作りあげよう。参加者が楽しむのは当然として、皆が輝き、皆の絆が強固にできる場を提供し、さらに強い組織を築き上げよう。

組織として成長の歩みを止めることなく挑戦を続け、最先端かつ持続可能な組織であり続けよう。地域社会から真に求められる存在として、組織のプレゼンスを高め、岡山青年会議所をまちのトップブランドに昇華しよう。



I 事業報告

理事長 石井 聖 至

2022年度の岡山青年会議所の活動、及び事業も無事に終了することができました。

本年度は「CHALLENGE!! OKAYAMA」をスローガンに掲げ、打ちのめされることなく立ち上がり変化を怖れずに挑戦していく姿勢を持って、様々な事業を展開させていただきました。依然として新型コロナウイルスが猛威を振るう中で幾多の困難や壁を突き付けられましたが、知恵を絞り工夫を凝らすことでそれらを乗り越えることができました。その結果いずれの事業も成功裏に終えることができ、新たな活動モデルを構築することができたと確信しております。

3年ぶりの実地開催となった「うらじゃ」、そして市内各所で打ち上げたサプライズ花火事業、体験の格差の解消を目的とした「親子で瀬戸内クルーズ」、自然への感謝を持って道德心の向上を目的とした「わくわくファーム2022」の事業など、Withコロナにおける新たな価値観と手法を考案して実現できたことで、今後の活動における道筋を示すことができました。新型コロナウイルスも第8波が到来しており予断を許さない状況ではありますが、それに屈することなく次年度以降も挑戦を続けていただくことを切に願います。

2023年から施行されるインボイス制度や電子帳簿保存法など、急激なDXの促進と対応が叫ばれる中、DXに対する学びの場を提供するため「DXセミナー」を計2回に分けて実施させていただきました。また昨今の情勢として多様性を受け入れる機運が高まる中、「LGBTQ」についての理解を深める目的で講師をお招きしてのセミナーも実施させていただいております。目まぐるしく変化する社会において時勢に追従していくことは困難を極めますが、岡山の経営者の皆様の社業の持続的な発展を援助すべく、我々岡山青年会議所も労を惜しむことなく日々の活動に取り組んでまいります。

最後になりますが、本年度ご協力いただいた行政各団体を始めとする関係各位、ご指導ご鞭撻をいただきました特別会員の皆様方、一年間我々の活動に対し多大なるご支援とご理解をいただきましたことを心より御礼申し上げます。2023年度も岡山のまちが輝くような発展を遂げることを祈念いたしまして本年度の活動報告とさせていただきます。



副理事長 中 村 彰 宏

本年度は岡山青年会議所の根幹となるひとづくり室を、副理事長兼会員研修委員会委員長という立場で運営させていただきました。また前期新会員及び後期新会員、そして大変心強いスタッフとともに一年間の活動を有意義に取り組むことができました。

礼儀礼節や利他の精神を大切に、修練を重ねることで自立したリーダーを育成することを目的に、基本方針として自発的に挑戦し、率先して行動を起こすことができる人材の育成に重きを置いた活動を展開しました。今年も新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しながらの活動にはなりましたが、その時にできる最善の形を判断しながらプログラムを進めることができたと感じております。その中で様々な考え方もったメンバーが、与えられた課題に取り組む過程において濃密な時間を共有することで真の友情を培い、共助の精神とリーダーシップを醸成するという目的にも達することができたと実感しております。

特別会員そして現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会の活動に対してご指導ご鞭撻を賜りましたことに衷心より厚く御礼を申し上げます。委員会メンバーが引き続き地域に貢献できる人材に成長できるよう、見守ってまいります。一年間、ありがとうございました。



副理事長 安 部 真 良

本年度石井理事長のもと副理事長という大役を仰せつかり、まちづくり室の副理事長を務めさせていただきました。

岡山市は交通の利便性災害の少なさに加え、まちに多くの可能性を秘めた資源が存在します。しかしながら、その魅力に気付く機会は決して多くないのが現状です。まずは誰もが郷土の魅力を知ることが必要不可欠でありました。

本年度、岡山青年会議所は未だコロナの禍の中、若者らしい斬新な発想と圧倒的な行動力で多くの事業に挑戦することができました。

事業を通し、地域の宝である子供達の郷土愛を育み、多くの団体共に未来に夢を描けることのできる活動を行うと同時に、我々の同世代からは共感を集めることができたと確信しております。

最後になりますが、一年間支えていただきました皆様、関わった皆様に感謝を申し上げます。



副理事長 幡 山 益 聖

本年度、石井理事長の掲げられた「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、地域未来室担当副理事長として、地域経済連携委員会と地域道徳向上委員会を担当させていただきました。「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」この言葉の意味を深く考え、岡山青年会議所が現状を打破できる事業を構築し、経済と道徳のバランスを取りながら本質を見抜く力を養い、様々な挑戦をさせていただきました。

眞殿委員長率います地域経済連携委員会では、昨年引き続きIPU環太平洋大学と連携し、「シゴトカレッジ」の実施させていただき、学生と企業が互いに多くの学びを得る機会を創出させていただきました。また、他団体との連携をはかり、「岡山の空を照らす大火花連携プロジェクト」の開催にあたり、準備段階から多くの方にご協力をいただき、まちが疲弊している今だからできる最善の事業として岡山市10箇所、合計1万1千発の花火をサプライズで行い、市民の皆様に沢山の活力を与えられたと確信しています。

平井委員長率います地域道徳向上委員会では、新たに作られた委員会ではありませんでしたが、田植え、稲刈り、野菜の収穫を通して農業体験をしていただく「わくわくファーム」、岡山の歴史や魅力を改めて考え、広く市民の方々に知っていただき、小学生の自由研究としても活用できる「再発見おかやま！ディスカバーウォーク」、動物愛護推進に関わる事業として、岡山市、岡山県獣医師会と連携協定を結び、これからの社会において保護活動の状況や意義を多くの市民の皆様に知っていただく機会を創出させていただきました。

それぞれの活動に対して特別会員をはじめ、ご縁をいただいた多くの方のご協力とご理解があったからこそ、全力で駆け抜けられた地域未来室となり、両委員会の行動力には大変感謝しております。一年間ありがとうございました。



副理事長 加 藤 高 明

本年度、連携強化室の副理事長として、うらじゃ委員会の三垣委員長と渉外委員会の小西委員長とともにコロナ禍から変動する1年を全速力で駆け抜けてまいりました。これも、石井理事長から任命された連携強化室の宿命と考えております。

まずは、第27回うらじゃを小規模といえども例年に沿った形で開催することができました。3年ぶりの開催とあって、参加する踊り連の数は減少しましたが、当日の観客、踊り子の顔を見ていると岡山市にはうらじゃが必要とされていることを実感しました。また、渉外委員会においては、3年ぶりのLOMナイトを開催し、交歓会においても3年ぶりに例年に即した形で岡山らしいおもてなしができたことと自負しております。入会歴3年未満の会員が6割を超える中、LOMナイトや友好LOMとの交歓会を知らないメンバーも増えてきた中、これ以上の機会喪失は、LOMナイトと交歓会の存続の危機ともなる可能性がありました。なんとか回避し、次年度以降にバトンを繋げることができ安心しております。

結びになりますが、1年間、活動を支援いただきました石井理事長、そして特別会員の皆様に対しまして些末ではございますがお礼を申し上げます。



副理事長 大岩 裕 季

本年度、石井理事長より交流推進室副理事長という大役を仰せつかり、「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンの元、様々な事に挑戦しながら、この一年間を全力で駆け抜けてまいりました。

2022年度初頭はまん延防止措置重点措置が発令されており、コロナの情勢も安定していなかったこともあった為、対面でのコミュニケーションに限られる事もありましたが、後半からは、コロナウイルス感染対策を意識しながらも、メンバーが一堂に会して、皆で学び、皆で交流し、皆で成長できる場を提供できるよう努めてまいりました。

昨年は満足に行う事が出来なかった現役会員の交流の場を設けることができ、特別会員との交流の場をコロナ以降久しぶりに設ける事ができ、コロナ禍の中でも多くの岡山市民の皆様への学びの場を提供できたのも、妹尾委員長率いられます例会委員会の皆様と、山畑委員長率いられます親睦委員会の皆様のご協力があったからこそと感謝を申し上げます。

最後にはなりますが、多くの特別会員および現役会員の皆様方にはこの一年間交流推進室に多大なるご理解とご支援を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



専務理事 大森 将 平

本年度、石井理事長より専務理事の大役を仰せつかり、理事長の側でしっかりとサポートできるよう、事業に対しても2022年度の不安定な情勢の中でどのような活動ができるか、社会の風潮が変化している中LOMの組織運営に努めて参りました。今までの守りの風潮から転換し、リスクを取って攻めの姿勢を貫いた石井理事長より、多くの学びをいただいたこと、感謝の念に堪えません。総務室としても、変化の著しい時代の中で活動指針を節目で発信させていただき、メンバーが皆の模範となるよう品格のある行動に努めて参りました。

本年度、支える立場でありながら、各室の理事委員長や総務室メンバーなど多くの方々に支えていただいたことに心より感謝しております。そして、一年間関係各所と特別会員の皆様にも多大なるご協力を賜りましたこと、衷心より感謝申し上げます。



常任理事 笹山 勇二

本年度、石井理事長よりひとづくり室常任理事の役職を賜り、中村副理事長兼委員長とともに会員研修委員会を担当させていただきました。岡山青年会議所の根幹であるひとづくりに邁進してまいりました。数年間にわたって続いた新型コロナウイルスによる社会の混乱がようやく終息の兆しをみせ始めた本年度は、岡山青年会議所で紡がれてきたひとづくりの精神をニューノーマルに合わせたより進化したものにし、新時代に相応しいリーダーの育成を念頭に新会員の研修に尽力しました。

コロナ禍で培った新しい研修の手法と、これまでの研修カリキュラムを効果的に組み合わせることで、新会員は岡山青年会議所のメンバーとして、礼儀、礼節の大切さや、互いを思いやる利他の精神を十分に学ぶとができたのではないかと感じています。次年度からは本格的に各委員会へ配属され、研修で培った学びと成長を郷土おかやまの発展に活かしてもらえるものと思います。また、新会員のために持てるすべて能力と時間を注いでくれたスタッフにとっても大きな学びになりました。

結びになりますが、特別会員の皆様、現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会に多大なるご支援とご協力をいただきましたこと、改めて心より感謝も申し上げます。まだまだ発展途上の新会員ではございます。郷土おかやまにとって必要な青年経済人に成長できるように引き続き指導してまいりますことをお誓い申し上げ本年度の事業報告とさせていただきます。



常任理事 畑 利昌

本年度、石井理事長よりまちづくり室常任理事の役職を賜り、安部副理事長とともに若者らしい斬新な発想と圧倒的な行動力でまちづくりに取り組むべく、津島委員長率いるこどもまちづくり委員会、青山委員長率いるおとなまちづくり委員会を担当させていただきました。

こどもまちづくり委員会では、まちの宝であるこども達が地域を知り誇りに感じ、未来への希望に満ち溢れた人材となるべく、自らのスポーツの適性を知るキッズスポーツパーク、地域課題の解決策を考える犬島での青少年育成事業、そして未知の体験を通して自らの無限の可能性を感じてもらうことを目的としたキッズスペースパークを実施いたしました。

おとなまちづくり委員会では、同世代から一目置かれる、独自性と話題性のある事業展開を行い、貧困の格差とりわけその情報の格差を是正する事業、多様性への理解と行動を目指したLGBTQセミナー、まちの活性化を目的としたまちなかサウナ事業を実施いたしました。

最後になりますが、まちづくり室の多くの事業・活動に対しご理解とご協力をいただきました特別会員の皆さま、現役会員の皆さまに心より御礼申し上げ、事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



常任理事 高 畠 裕 介

本年度は地域未来室の常任理事として、石井理事長が掲げられるスローガン「CHALLENGE!! OKAYAMA」のもと一年間活動してまいりました。

眞殿委員長率いる地域経済連携委員会では、「シゴトカレッジ2022」と「岡山の空を照らす大花火連携プロジェクト」をおこないました。「シゴトカレッジ2022」では産学連携として青年会議所にしか出来ない事業であり、「岡山の空を照らす大花火連携プロジェクト」に関しても様々な岡山商工会議所青年部や岡山商工会青年部などの連携団体と共に今までにない地域との連携を進めることができました。

また平井委員長率いる地域道徳向上委員会では、「わくわくファーム2022」と「再発見おかやま！ディスカバーウォーク」と「岡山の誇る道徳心、命の尊さ～殺処分ゼロ運動～」をおこないました。食物への感謝、岡山の魅力や成立ち、動物愛護の課題に、日本人の精神性である道徳心を切り口に様々な事業から市民の方々に対して、運動を展開してまいりました。

両委員会とも「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと様々な視点で今までにない事業に取り組んでくれたことで、アフターコロナを見据えながら活動が実現出来たのだと考えております。最後になりますが、すべての事業に関わっていただいた方や見守っていただいた方々に心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



常任理事 前 田 淳

本年度、連携強化室担当常任理事の役職を石井理事長より賜り、「CHALLENGE!! OKAYAMA」のもと、1年間職務を全うして参りました。

加藤副理事長と共に三垣委員長率いる「うらじゃ委員会」、小西委員長率いる「渉外委員会」の2委員会を担当させていただき、成長できる出会いの場の創出、「うらじゃ」の進化を促すことを目指し活動を行いました。

うらじゃ委員会では、3年ぶりに開催することのできた「うらじゃ」は時代に即したまつりの運営の形を模索し、実施したことで更に市民に認知され、岡山になくってはならない存在へと昇華することができました。

渉外委員会では、コロナ禍で思うように活動ができない状況の中ではありましたが、出向者支援LOMナイトや他LOMとの交歓会を設営側が「おもてなし」の精神を持ち準備から設営を行うことで、参加していただいた皆様方に成長の契機となる出会いの場を創出することができました。また、本年度は姉妹JCでもある台南JCとの姉妹締結57周年記念調印式も企画・実施させていただき、希薄になっていた友好関係を再構築することができました。

最後になりますが、特別会員、現役会員にご支援ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



常任理事 本 多 高 明

本年度、石井理事長より総務室常任理事の役職を賜り、大森専務理事にご指導いただきながら、大塚委員長率いる総務・広報委員会を担当させていただきました。

本年度は、常にメンバー一人ひとりが挑戦できる機会を提供しつづけ岡山青年会議所の礎である「人」にこだわり全力で活動できるように事業計画書を確認し行動に務めて参りました。同時に時代の変化に対応できる持続可能な組織にするためプレゼンスを高め、コンプライアンスの遵守や透明性のある明瞭な運営を心掛け事業報告まで確認をして参りました。

広報活動では岡山青年会議所の価値を高め、多くの共感を得ることに重点をおき活動して参りました。アイデンティティを発信しブランディング価値が高まるメンバーの成長、組織の発展と繋がる結果になったと感じております。

最後になりますが、総務室の活動に対してご支援ご協力いただきました特別会員・現役会員の皆様に感謝するとともに、ご指導いただいた大森専務理事、そして共に挑戦を続けてくれた大塚委員長に感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。



監事 井 戸 啓 太

本年度、石井理事長より公益社団法人岡山青年会議所監事のご指名をいただき、粉骨砕身の想いで務めさせていただきました。

石井理事長が掲げられます理念をメンバー全員が理解し前向きな想いをもって行動することが重要であったと考えます。コロナ禍中の混乱した昨今ではありますが、メンバー全員が挑戦し続けていくことで多くの事業を成功させることができました。

岡山青年会議所が希望をもたらす変革の起点となり、岡山市民の方々が故郷を愛し誇りを持てる明るい豊かな「岡山のまち」の礎を築くため、監事という俯瞰的な立場からその役割を全うできたと自負しております。

日本が新しい時代へと突入していく中、私たち岡山青年会議所も変化を恐れず挑戦することで新たなステージに一步踏み込めたのではないのでしょうか。

結びになりますが、特別会員現役会員の皆様、関係各位の皆様方、一年間誠にありがとうございました。



監 事 二 垣 幸 広

本年度、石井理事長より監事という大役を仰せつかり、どの室にも属さない俯瞰的な立場から岡山青年会議所の不易とは何か、流行とは何かを常に意識し、組織及びメンバーに対して一石を投じる監査業務を実施して参りました。

公益社団法人として適切な事業実施と適正な会計処理が行われているか、また事業計画や収支予算に基づいて遂行出来ていたか、単なるボランティアではないあるべき公益事業の姿を追い求め指導するとともに、例会や理事会の場ではこれまでに自身が培ってきた経験を最大限活用し、固定概念にとらわれない岡山青年会議所のあるべき未来像を語り伝えてきた所存です。

今年度の経験を活かし、2023年度以降も諸先輩方が紡いできた歴史を今一度振り返えるとともに、おかやまのまちにとって真に必要とされる団体へとなるべく全身全霊をかけて職務に取り組んで参ります。

最後になりますが、私の講評を聴いていただいた特別会員・現役会員の皆様に心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

| | |
|-----------------|------|
| 2021年度末会員 | 115名 |
| 2022年度特別会員加入数 | 10名 |
| 2022年度新規加入者 | 28名 |
| 2022年度中途退会者 | 7名 |
| 2023年度特別会員加入予定者 | 17名 |
| 2020年度末会員 | 87名 |

退会者 塩見 光央
伊藤 英希
黒住 駿
長尾 章弘
吉原 優季
弘 晃輔
小島 諭志

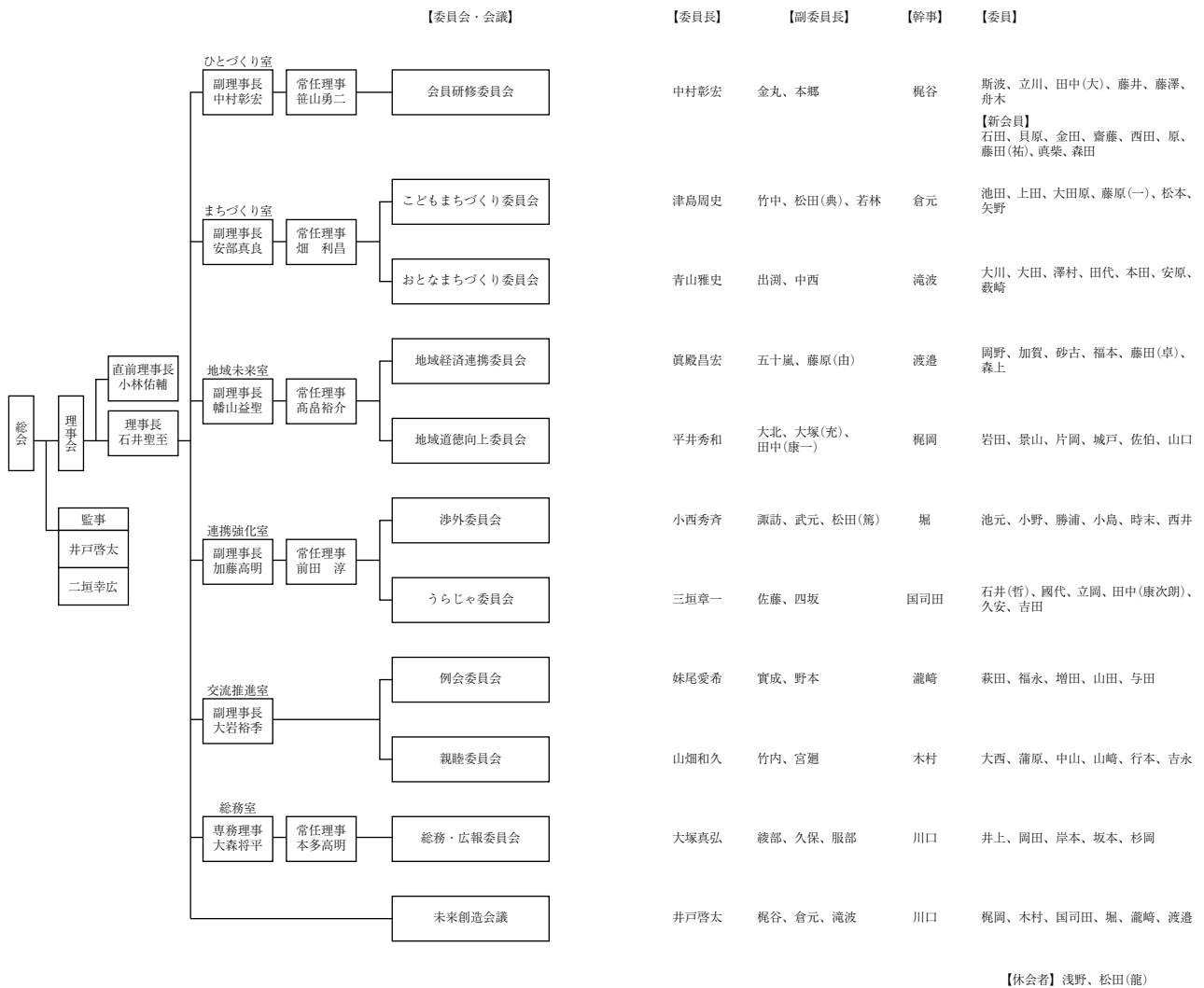
(2) 特 別 会 員

| | |
|-------------|------|
| 2021年度末会員 | 794名 |
| 2022年度加入者 | 10名 |
| 2022年度物故会員 | 8名 |
| 2023年度加入予定者 | 17名 |
| 2023年1月1日会員 | 813名 |

物故会員 平野 信一
児島 正和
金谷 徹
安原 健男
黒瀬 敦美
黒瀬 治樹
佐藤 道康
平田 保二

| 区分 | 氏 名 | 勤 務 先 | 年/月 |
|-----------|-------------|--------------------|--------|
| 前期新規入会者 | 井上玉丹穂 | (株)アイクス | 2022/1 |
| | 岩田 優樹 | (株)I K O N | 2022/1 |
| | 大西 悟史 | 友晃産業(株) | 2022/1 |
| | 景山 和毅 | (株)エポウカンパニー | 2022/1 |
| | 小島 諭志 | (株)N S T R U S T | 2022/1 |
| | 田中康次朗 | (株)岡山マドコン | 2022/1 |
| | 西井 基起 | (株)西井工業 | 2022/1 |
| | 萩田 正樹 | (有)レディアンズ | 2022/1 |
| | 藤澤 謙 | (株)ベンハウス | 2022/1 |
| | 藤田 卓也 | (株)N I N E | 2022/1 |
| | 安原 和宏 | 洪栄物産(有) | 2022/1 |
| | 矢野 修 | インビザライン・シャパン(株) | 2022/1 |
| | 山崎 洋介 | 大洋建匠 | 2022/1 |
| | 与田 雄人 | (株)インターナショナルリレーション | 2022/1 |
| 後期新規入会者 | 石田 祐己 | (株)重藤組 | 2022/7 |
| | 貝原 清高 | 縁鍼灸院 | 2022/7 |
| | 金田 大希 | ジブラルタル生命保険(株) | 2022/7 |
| | 齋藤 将斗 | (株)ウィズ・プランニング | 2022/7 |
| | 西田 喜勝 | 大和ハウス工業(株)岡山支社 | 2022/7 |
| | 原 拓矢 | (株)クフシマ宅建グループ | 2022/7 |
| | 藤田 佑己 | ユーキエンジニアリング(株) | 2022/7 |
| | 真柴 祐介 | (株)リフレクト | 2022/7 |
| | 森田 貴統 | (株)平和産業 | 2022/7 |
| 特別会員新規加入者 | 石井 聖至 | (株)WORK SMILE LABO | 2023/1 |
| | 上田憲一郎 | (株)ベルテック | 2023/1 |
| | 大岩 裕季 | (株)レイ | 2023/1 |
| | 岡野 涼子 | (株)G R A N D I R | 2023/1 |
| | 金丸 俊孝 | (株)美達 | 2023/1 |
| | 蒲原 智樹 | (株)つなぎ建築工房 | 2023/1 |
| | 小西 秀斉 | (株)グランド | 2023/1 |
| | 坂本 雅樹 | びほう園 | 2023/1 |
| | 實成 忠 | ネットリンクス(株) | 2023/1 |
| | 竹内 優子 | (株)ケイ・ワイ・エス | 2023/1 |
| | 立岡 海人 | 立岡靴工房 | 2023/1 |
| | 出淵 篤史 | (株)スクラム | 2023/1 |
| | 畑 利昌 | 大和被服(株) | 2023/1 |
| | 服部 悟 | (株)服部管楽器 | 2023/1 |
| | 平井 秀和 | (株)名玄 | 2023/1 |
| | 福本 初美 | 大同生命保険(株) | 2023/1 |
| 山畑 和久 | (株)エイトヴィジョン | 2023/1 | |

2.2022年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

サマーコンファレンス特別委員会 会計幹事 安 部 真 良

まずは本年度、日本青年会議所サマーコンファレンス特別委員会への出向機会をいただきました、石井理事長へ感謝申し上げます。自身二度目の日本出向ということで前回に負けず多くの学びと気づきの機会をいただきましたこと、そして多くの他L O Mメンバーの方々と生涯忘れることのできない強い絆ができたことに心より感謝申し上げます。また、一緒に出向した岡山青年会議所メンバーに出向の楽しさを少しでも感じてもらえるように尽力してまいりましたので、今後岡山青年会議所から積極的に日本青年会議所に出向してもらえるメンバーが増えてくと幸いに存じます。コロナ禍で通常通りには何事も進みませんでしたが、過去最高の登録率になったサマーコンファレンスの運営に携われたことを大変嬉しく思っております。1年間出向させていただきありがとうございました。

サマーコンファレンス特別委員会 委員 諏 訪 智 彦

本年度、日本青年会議所への出向機会をいただきました、石井理事長はじめ岡山青年会議所執行部の方々へ感謝申し上げます。岡山青年会議所以外の現役会員の方々ととの交流の場をいただけたことで、改めて岡山青年会議所の伝統と研修、そして絆の強さを感じることができました。

日本青年会議所3大会の一つでもあるサマーコンファレンスの運営に携われる委員会に配属いただけたことで、日本青年会議所の規模感を体感できただけでなく、全国のL O Mから集まる会員と密に親交を深めることができました。開催直前での急な会場警備体制の変更、大幅な予算変更等、予期せぬ出来事に見舞われましたが、迅速かつ柔軟に対処される委員会メンバーの対応力の高さは、大変勉強になりました。

今回の貴重な出向体験の中で学ばせていただきましたことを、自身のためだけでなく、岡山青年会議所内での活動にも活かせるよう、今後も精進できるよう努めてまいります。

サマーコンファレンス特別委員会 委員 上 田 憲 一 郎

2022年度、日本青年会議所サマーコンファレンス特別委員会に出向させていただきありがとうございます。

なかなか思うように県外へ出向き委員会メンバーと対面で関わる事が出来ませんでした。サマーコンファレンスに参加させていただき全国の青年会議所メンバーがどのような思い出で出向を務めているかわかり素晴らしい体験と刺激をいただきました。

このような体験と機会をいただきました岡山青年会議所のメンバーの皆様は感謝と共に今後の自分自身の糧としてしっかりと活かしていきたいと思っております。

サマーコンファレンス特別委員会 委員 佐 伯 純 子

2021年度、日本青年会議所、サマーコンファレンス特別委員会に出向させていただきました。岡山青年会議所に入会する前から事業内容、フォーラムに大変興味をもっており、一般来場者として参加させていただいていたサマーコンファレンスへの出向。胸が高鳴りました。全国から集まった多くの仲間の熱量とパワーに圧倒されながら、緊張を飲み込んで恐る恐る輪の中へ。多くの素晴らしい仲間を見つけることができました。

コロナ禍での開催にも関わらず過去最高の登録者、来場者を達成しました。多くの学び、二度とない経験のチャンスをくださった岡山青年会議所のメンバー、直接声をかけてくださった、安部理事長予定者に感謝の気持ちをお伝えすると共に、この素晴らしい経験を今後の青年会議所運動、社業へ活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

サマーコンファレンス特別委員会 委員 藤 原 由 季 子

本年度、公益社団法人日本青年会議所サマーコンファレンス特別委員会に委員として出向させていただきました。サマコンには毎年参加していたものの、その運営側に思いを馳せたことは恥ずかしななかったため、裏側からは何が見えるのか、どのように経営をしているのかを間近で見れたことが一番の学びでした。また、全国に沢山の友人を得ることができるのも出向の醍醐味です。様々なL O Mから集まったメンバーに事業や悩みの相談をしたり、拡大手法の話の聞いたり、L O Mの垣根を越えた交流を持つことができ、互いに支え合うことの大切さを改めて認識することができました。最後になりますが、貴重な機会を与えてくださった石井理事長、誠にありがとうございました。

国民の幸せを守る委員会 会計幹事 五十嵐 尚 輝

本年度は社会グループ 国民の幸せを守る委員会に会計幹事として出向させていただきました。当委員会では国民投票法や安全保障・防衛政策など国民の幸せを守るために不可欠な問題にフォーカスした全国模擬国民投票の実施や、自衛隊基地の視察を行いました。普段の生活では考えることもないことを学び、また体験することができました。出向先では他LOMのたくさんの仲間ができて、その仲間からたくさんのお話を聞き今後の青年会議所活動や社業への視野が少し広がった気がします。この経験をしっかりと岡山青年会議所また社業へ活用させていただきます。最後になりますが一緒に出向してくれた岡山青年会議所のメンバーには感謝を申し上げます。ありがとうございました。

国民の幸せを守る委員会 委員 野 本 智 也

この度、国民の幸せを守る委員会に委員として出向させていただきました。

事業はあまり思うようにはいきませんでした。杉岡委員長をはじめ日本各地のメンバーと交流を持つことができました。まちにより良い変化をもたらすことを目指し委員会が一丸になる大切さ、リーダーシップの取り方を背中を見て体感し学ぶことができました。貴重な機会をいただきまして、また、出向させていただきました大変感謝しております。1年間ありがとうございました。

国民の幸せを守る委員会 委員 山 口 陽 平

本年度は日本青年会議所 社会グループ 国民の幸せを守る委員会に委員として出向させていただきました。当委員会では国民投票法や安全保障・防衛政策など国民の幸せを守るために不可欠な問題をフォーカスし全国模擬国民投票の実施や、自衛隊基地の視察を行いました。私の経験としてはじめての出向でしたが、LOMの垣根を超えた全国の仲間と出会い交流を重ねていく中で、他LOMの価値観や信念を学ぶとともに、岡山青年会議所の誇りを感じることができました。この貴重な経験をしっかりと活かして、次につなげていきます。この度は、日本青年会議所への出向の機会を与えていただき、ありがとうございました。

まちのレジリエンス確立委員会 副委員長 加 藤 高 明

本年度、公益社団法人日本青年会議所 社会グループ まちのレジリエンス確立委員会に副委員長として出向させていただきました。日本青年会議所の副委員長という大役であり、学びのある役職に出向させていただきましたことを石井理事長に感謝いたします。

当委員会におきましては、岡山メンバー4名を迎え、ちょうど1年前の今頃第0回委員会を奈良の地にて行いました。そのころから委員長の名前が変わりましたが、委員会としての思いは一つでした。日本という災害大国において、災害が起きた際の復興活動の迅速化、災害をいかに最小限度にするかなど災害耐性への格差を是正し、青年会議所だけではなく他団体と協力し、平時から情報共有を行える関係性作りを目指して活動してまいりました。本年度も幾度の台風により、北陸信越地区、東海地区、九州地区が被災され、当委員会からも現地へ視察に行く機会がありました。ニュースで見る光景と被災地に入る光景では全く異なったものが見えることを痛感しました。

最後に、委員メンバーとして参加していただいた4名に感謝するとともにそのメンバーを送り出してくれた岡山青年会議所メンバーに感謝の意を表明します。

まちのレジリエンス確立委員会 委員 綾 部 系 一

本年度は公益社団法人日本青年会議所 社会グループ まちのレジリエンス確立委員会に出向させていただきました。2020年度に出向させていただいた国土強靱委員会と同じ委員会であり、全国各地からの出向メンバーにも以前の顔なじみも多く所属していたおかげで、より良い交流・連携ができ、有意義な時間を過ごすことができました。今年は台風や大雨による災害も多く発生しました。災害はいつでもどこでも起こる可能性があります。有事を想定し平時から備え、他団体との連携強化を図ることが重要だと改めて認識させていただきました。災害を他人ごとではなく自分ごとと捉え、今後の活動に生かしていきたいと思っております。この度も貴重な経験を積ませていただきありがとうございました。

まちのレジリエンス確立委員会 委員 杉 岡 裕

本年度、日本青年会議所 社会グループ まちのレジリエンス確立委員会に委員として出向させていただきました。当委員会では、災害プラットフォームの構築として社会福祉協議会との協定締結や連携強化に取り組んで参りました。今まで経験しなかった分野に触れることで視野が拡がり自分自身、成長したことを実感しております。また、全国各地のLOMメンバーと交流することで岡山青年会議所の素晴らしさを再確認することも出来ました。なにより全国各地に友人が出来たことはかけがえない財産となりました。この経験を活かし、今後の岡山青年会議所の発展に寄与していきたいと思っております。最後になりますが、日本出向という貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました。

まちのレジリエンス確立委員会 委員 立岡海人

当委員会では、自然災害の多い日本において青年会議所と各地域がより密に連携することで被害を最小限に抑えるべく、各都道府県の社会福祉協議会との協定を結ぶ事業を経験させていただきました。

活動中に何度も地震や豪雨が発生しました。その都度、青年会議所が地域のインフラとなって様々な支援を行う場面に立ち会う中で、『明日は我が身』という思いと、『自分たちが地域を守る仕組みをつくる必要性』を強く感じました。

一緒に出向させていただいた岡山メンバーとの仲を深めることも出来、全国の仲間たちと本気本音で語り合ったことを岡山の未来に活かせるように更なる挑戦を続けて参ります。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

まちのレジリエンス確立委員会 委員 行本大輔

2022年度、公益社団法人日本青年会議所 社会グループ まちのレジリエンス確立委員会へ委員として出向させていただきました。新型コロナウイルスの終息が見えない中ではありましたが、ウィズコロナとなり緩和措置がとられ本年度は委員会メンバーの各地にて委員会を現地開催することができ交流を図り、学び、実り多き時間を過ごさせていただきました。

活動においては、全国各地のLOMが災害時における社会福祉協議会との締結状況の確認や実際に起こってしまった災害の被害状況の収集などにたずさわらせていただきました。世界的にみても日本は災害が多く災害大国と位置づけられています。今回の出向で災害に対し真剣に向き合い備えることの大切さも学ばせていただきました。

最後に、この様な機会を与えていただきました岡山青年会議所の皆様に感謝を申し上げまして出向報告とさせていただきます。

グローバルネットワーク創造会議 委員 幡山益聖

本年度、公益社団法人日本青年会議所 国際グループ グローバルネットワーク創造会議に委員として出向させていただきました。

当会議体の似ないとして、私に関わりました事業としては姉妹LOM締結の推奨を基本に、毎月姉妹LOMに関してのお悩み相談室や各地会員会議所の調査をさせていただきました。積極的なLOMもあれば、交流が途絶えているところもあり地域によってさまざまではありましたが、ASPACにて姉妹LOM締結をWEBにて開催させていただき、世界の友好関係に触れさせていただいた事は多くの気づきと学びになりました。今回の出向で得た学びをしっかりとLOMに還元できるよう邁進してまいります。出向の機会をいただき、誠にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

副会長 本多高明

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会の副会長として出向させていただきました。総務委員会が担当した褒賞事業では中国地区内53LOMで実施された事業の中から優れた事業について褒賞することを通じて事業の社会的影響を広げるきっかけとするとともに情報共有を行うことで各地会員会議所のJC運動を支援することを目的として実地いたしました。JCカップU-11少年少女サッカー全国大会予選大会ではスポーツを通じて、子供たちの心身の健全な発達を促し、スポーツマンシップやグッドルーザー精神を養うことで他人を思いやる心と自らを律する気持ちを持つことを目的として実地いたしました。レジリエンス構築委員会では、災害が少ない中国地区内で決して他人事と思わず、日頃より防災に対して知識を蓄えておくこと、そして事前の準備が重要であることに重きにおいて中国地区内の災害支援フローを明確化するとともに、支援に関わる本会・地区・ブロック・LOMで支援活動に対する共通認識を持つことを目的として事業を実地いたしました。

最後になりますが、出向の機会を与えていただいた石井理事長、そして支えていただいたLOMメンバーの皆様にご心より御礼を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

副会長幹事 加賀大三

本年度、公益社団法人岡山青年会議所 中国地区協議会に本多高明副会長幹事として出向させていただきました。新型コロナウイルスも落ち着き現地で会議に参加させていただき、いろいろなLOMの方々と交流をし、たくさんの学びを得ることができました。この貴重な経験を活かし今後の青年会議所活動に取り組んでいきたいと思っております。石井聖至理事長をはじめ岡山青年会議所の皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

副会長幹事 時 末 幸 範

2022年度、日本青年会議所 中国地区協議会 副会長幹事の outgoing をさせていただき誠にありがとうございました。初めの頃は何をしていたのかわからず行く度に不安でしたが、日がたつにつれ多くのメンバーと語り合いお互いの想いを言い合える仲間と多く出会いました。

青年会議所ならではの真骨頂だと感じ、自らはずかしがらずに自ら進んで物事を引き受け行動をしたらずと皆様は私の名前を覚えていただき、青年会議所の事であったりプライベートの事を多く語り合えました。やはり出会いは私の中で財産だと思い、これからもたくさんの人と出会い真の友情が築けていきたいとおもいます。そこには outgoing の事により出会いの大切さがわかりました。ありがとうございました。

総務委員会 副委員長 大 塚 充

2022年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 総務委員会に副委員長として outgoing させていただきました。

当委員会では、毎月行われる中国地区協議会の役員会議の設営、ASPACでの褒賞事業、JCカップU-11 少年少女サッカー 中国地区予選大会の運営を行う中で、中国地区の他 LOM の仲間との絆を深める事ができました。

また委員長の議案作成の補佐をさせていただき、日本青年会議所の議案に対する繊細さや想いを感じる事ができ、今後の岡山青年会議所での活動に活かしていきたいと思っております。このような経験と機会を与えて下さった石井理事長をはじめとされます岡山青年会議所の皆さまに感謝いたします。誠にありがとうございました。

総務委員会 委員 石 井 哲 也

2022年度日本青年会議所 中国地区 総務委員会に outgoing させていただきました。総務委員会では、中国地区協議会の会議の設営を主に担当いたしました。設営内容といたしましては、主にマイクアテンド、ZOOM 会議準備です。各青年会議所から outgoing されてきた方々との交流を深め、情報交換をいたしました。以上になります。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会

直前会長 井 戸 啓 太

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 直前会長として outgoing させていただき、去年の会長とは違った視点で協議会を見ることができました。様々な LOM からの outgoing 者で成り立つブロック協議会は、人との出会いや切磋琢磨を通じて、LOM とは違った多くの成長の機会があります。「岡山ブロック協議会はブロック協議会発展のために存在するのではない。県下15青年会議所の発展、各地域の発展のために存在する。」この揺るぐことのない志のもと明るい豊かな社会を創っていくことを今後も一意奮闘の覚悟を持って臨んでいく所存であります。県下15青年会議所メンバーの皆様、特別会員の皆様におかれましては、引き続き岡山ブロック協議会に対しまして格別のご支援とご協力、ご指導とご鞭撻を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

直前会長幹事 立 川 圭 亮

2022年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 直前会長幹事として outgoing させていただきました。

私は初めての outgoing で直前会長幹事の役目を考える中でたくさんの上程議案に触れることができ、事業への考え方を学び成長できたと感じております。

また他 LOM のメンバーとの交流も多くありたくさん仲間ができたと思います。このような経験は outgoing しなければできなかったと思います。 outgoing させていただいた、岡山青年会議所の皆様に感謝と共に、この経験を今後の青年会議所の活動にも活かしてまいります。

直前会長幹事 久 安 宏 一

本年度、日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会へ直前会長幹事として出向させていただきました。幹事団として役員会議への参加、幹事団での懇親等もあり、一年間楽しく活動をさせていただきましたが、全てには出席はできませんでしたので、そこは少し後悔があります。岡山ブロック協議会で行われている事業も会議に出席することで知ることができ、L O Mで事業をしていくにあたりとてもよい勉強の機会を与えていただきました。これをきっかけに岡山ブロック協議会だけにとどまらず、日本青年会議所も経験をしたいという意欲になったのは間違いありません。出向を悩まれている方、または経験をしていない会員には、自分の経験を伝え、出向に促していこうと考えています。

副会長 畑 利 昌

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会の副会長として出向させていただきました。

青少年育成事業を主に担当させていただき、負けてなお相手を称えるグッドルーザーの精神を子どもたちに伝える「J CカップU-11少年少女サッカー全国大会岡山予選」とスマートフォンの危険性を理解し、自らルールを作り守ることで健全な精神を育む「わたしのスマホルール」の事業を実施いたしました。どちらの事業もすぐに結果が表れるものではありませんが、少なくとも事業に関わった出向メンバーが真剣に子どもたちを想い事業に携わったことは、地域の未来にとって大きな意義があったと確信しております。

岡山ブロック協議会は県内15 L O Mの連携をもって初めて事業・活動が行えます。メンバーの数や事業実施に至るプロセスなどは違えども、地域の発展を本気で願い行動する気持ちに違いはありません。真に人と人が切磋琢磨できる環境は多くの学びを与えてくれました。

最後になりますが、岡山ブロック協議会に対してご理解とご協力をいただきました特別会員の皆さま、また現役会員の皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

副会長幹事 本 田 聖

2022年度公益社団法人岡山ブロック協議会に副会長幹事として出向させて頂き、誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの余波が続き、本年もまだまだ思うように活動出来ないことがありましたが、その中でも副会長のもと、幹事として多くの学びがあった1年でした。青少年育成サッカー事業では、準備等大変なこともありましたが、感染対策を講じた中で子どもたちの笑顔を見ることが出来、喜びややりがいを感じる事が出来ました。岡山の出向メンバーとして貴重な時間を頂けたことに改めて感謝し、今後の活動に活かしていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

副会長幹事 松 本 卓 也

本年度、中国地区、岡山ブロック協議会、副会長幹事として出向させていただきました。新会員あけの私にとって、勉強になりました。上程される多くの議案を協議し皆さんが、どのような思いで事業をしようとしているかを見ることができました。出向で学んだことを、今後の青年会議所活動にいかしたいと思います。貴重な時間を頂けたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

拡大ブランディング会議 議長 妹 尾 愛 希

本年度、石井理事長、山本ブロック会長より岡山ブロック協議会 拡大ブランディング会議議長の役職を賜り、山本会長の掲げられる「誰もが輝き愛溢れる岡山の創造」を基本理念とし活動を邁進してまいりました。

新型コロナウイルスの感染症に配慮しつつ、各L O Mの会員拡大の課題解決の為、また岡山ブロック協議会のブランディングの為に、活動を展開させていただきました。活動を通して、L O MとL O Mの垣根を越え、岡山に愛をもち、輝ける人財が1人でも多く生まれたと確信しております。また、会員会議所会議や役員会議を通して、各地会員会議所のメンバーと交流を持たせていただきました。L O Mの垣根を超越した出会いによる、新たな友情を今後の青年会議所活動に活かしてまいります。

最後になりますが、岡山ブロック協議会の活動にご理解とご協力をいただきました特別会員の皆様、石井理事長をはじめ現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

拡大ブランディング会議 副議長 實 成 忠

本年度、拡大ブランディング会議へ副議長として出向させていただきました。J C生活最終年度での初出向ではありましたが、多くの方々と知り合うことができ、新たな経験と友情を培うことができました。会議では女性会議の開催に携わらせていただき、J Cで女性が活躍するために変わらないといけないことは何なのか、また拡大するにはどうすべきかという貴重な意見をいただきました。そして合同引継式、岡山ブロックAWARDS、卒業式では会議メンバー一丸となって設営させていただきました。

最後に、出向をさせていただきました石井理事長をはじめとされます岡山青年会議所の皆様、とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

拡大ブランディング会議 議長幹事 瀧 崎 純

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 拡大ブランディング会議 議長幹事として出向させていただきました。出向先では役員会議、議会、事業設営にまで参加させていただき岡山の各LOMの方々、幹事団と交流の機会をいただき多くを学ばせていただきました。岡山LOMの方々と交流する中で、岡山青年会議所の研修で多くを学ばせていただけていたこと、同期同士の繋がりの強さをあらためて強く感じさせていただきました。この度の経験を今後の青年会議所活動に活かせるよう精進してまいります。出向の機会をいただきまして心よりお礼申し上げます。

岡山拡大ブランディング会議 議長幹事 山 田 健 二

本年度、中国地区、岡山ブロック協議会 岡山拡大ブランディング会議に議長幹事として出向させていただきました。事業としては、岡山ブロックの女性会員の拡大や活動をしやすい環境づくりを目的とした女性会議や岡山ブロックの卒業式などの体内事業に携わらせていただき、皆さんがどのような思いで青年会議所活動をしているかを知れた1年間になり、自分の今後の青年会議所活動に大きな影響を与えてくれるであろうと思います。また他LOMのメンバーとの交流や他LOMの例会に参加したりなど、出向させていただかないとあまり経験できない貴重な体験もさせていただきました。ぜひ機会が戴けるようでしたら再度挑戦したいと思います。本当に1年間ありがとうございました。

会員研修委員会 副委員長 松 田 典 久

この度 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2022年度 新会員研修委員会 副委員長として出向させていただきました。会員の資質向上を図るとともに、各LOMを支える基盤となる人財を育成する事を主とした委員会ですが、開催させて頂いた新会員研修会では、県内LOM会員を対象にVMVセミナーを実施し、J Cの歴史や目的・運動の価値を理解していただくとともに、JAYCEEに必要な素養を身に着ける為のセミナーを本当に多くの方に受講頂きました。

県内12LOM、総勢27名の委員会メンバーと共に様々な事業を行わせて頂く中で、自己の成長を強く実感するとともに、このような機会を与えてくださった石井理事長をはじめとする岡山青年会議所の皆様に心から感謝申し上げます。

会員研修委員会 委員 森 上 真 夢

本年度、岡山ブロック協議会の会員研修委員会に委員として出向させていただきました。

会員研修委員会では、コロナ禍ではありましたが対策を講じながら三つの事業（新会員研修会・ブロックアカデミー・交流事業）を現地で実施し、会員相互の友情を育む場と機会を創出することができました。私自身も他LOMのメンバーと1年間活動を共にすることで、新たな知見を得ることができました。

今回の出向で得た経験を活かし、今後の青年会議所での活動につなげてまいります。この度は、貴重な機会をさせていただきました。ありがとうございました。

未来輝く人材育成委員会 副委員長 金 丸 俊 孝

2022年度、公益社団法人日本青年会議所 岡山ブロック 未来輝く人材育成委員会に副委員長として出向させていただきました誠にありがとうございました。事業内容としましてはJ CカップU-11少年少女サッカー大会と青少年育成事業「わたしのスマホのルール」を実施させていただきました。

本年度の事業はコロナ感染症対策を徹底しコロナ過以前の規模間で実施することができとても充実したものとなりました。また担当副会長の畑副会長はじめとする各ロムの志の高い者同士の仲間もでき私自身とても学びになりました。J C最終年度にこのような貴重な時間をいただけたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

未来輝く人財育成委員会 委員 城戸 貴 登

本年度、未来輝く人財育成委員会に委員として出向させていただきました。担当する事業としましては、グッドルーザーの精神を子どもたちへ伝える「J CカップU-11少年少女サッカー大会」とスマホとの正しい付き合い方を考え、自らのルールを作る「わたしのスマホルール」の2事業に携わらせていただきました。子どもたちが事業を通して変わっていく姿に、私自身大きな気付きや学びを得ることが出来ました。

最後になりますが、出向をさせていただきました石井理事長に感謝を申し上げるとともに、今回の経験を今後の青年会議所活動に活かして参ります。1年間ありがとうございました。

愛溢れる岡山創造委員会 副委員長 宮 廻 孝 史

本年度 岡山ブロック協議会 愛溢れる岡山創造委員会に副委員長として出向させていただき、ブロック大会のメインフォーラムの設営、また、まちづくり系の事業として岡山の魅力発見事業を実施させていただきました。

今回の出向で知れたことは多くありますが、ひとつは各地青年会議所の会員の皆さんも私たちと同じように背景・目的から一貫性のある議案を書き上げ、地域のための事業を実施されていることです。その中で様々な苦労や事業を実施できた時の達成感を共有し、また事業運営を通じて各地青年会議所会員の方々と交流をすることで、多くの仲間をこの岡山に増やすことができました。この度の経験を活かし、岡山青年会議所だけでなく、各地の青年会議所メンバーとも切磋琢磨を続け、今後の活動に活かしてまいります。この度は出向という大変貴重なチャンスをいただけたことに改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

愛溢れる岡山創造委員会 委員 池 元 純 一

2022年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 愛溢れる岡山創造委員会に委員として出向させていただき、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症影響で思うように活動ができない時期もありましたが岡山県各地から集まる青年会議所メンバーと一緒に、児島にある鷺羽山ハイランドで行うことができた事業は今まで私が携わってこなかった事業であり、大変学ぶことが多い1年でした。

また、私同様今後も残るメンバーには1人でも多く出向の経験をしてほしいと思いますので得た経験を伝えていきたいと思います。

最後になりましたがこの様な貴重な経験と機会を与えていただきました石井理事長をはじめとする岡山青年会議所メンバーの皆様
に感謝と共にこの経験をしっかりと岡山青年会議所活動に活かしていきたいと思ひます。

長期ビジョンスローガン・考え方

あって良かった。
岡山 J C

ひとづくり

まちづくり

青年会議所活動を通して築かれる
若者同士の強固な絆

これまでになかった事業への挑戦を
通じて検証する「おかやまのまち」

若者ならではの、若者にしかできない挑戦を
通じて創造する「新しいおかやま」

<ひとづくり>

岡山青年会議所による修練は確実な自己成長を促し、また互いに切磋琢磨を繰り返される若者同士の絆は、確実に新しい岡山を創造する力になっていきます。岡山青年会議所に入会したすべてのメンバーが「出会えてよかった。」と胸を張って言える団体を目指します。

<まちづくり>

青年会議所運動で培った能力を存分に発揮し、郷土おかやまの発展に無くてはならない、若者にしかできない事業を推進していきます。そして、岡山青年会議所が郷土おかやまに必要不可欠な団体、岡山の方々に「岡山 J C がある良かった。」と思われる団体を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム

| 立ち上がり期 | | 浸透期 | | 拡大期 |
|------------------|-------|-------|--------------|-------|
| 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| 長期ビジョンの検証（総務委員会） | | | | |
| 長期ビジョンの啓蒙 | | 中間答申 | 長期ビジョンの啓蒙・策定 | |
| 既存事業の継続・発展・検証 | | | | |

これまでになかった事業へ挑戦するための企画・立案・検証

- 年間10名以上の純増を目指し、2024年当初150名の会員を得ることを目標とする。
- 若者ならではの、若者にしかできない事業の企画・運営を行う事により、新しいおかやま創造の一助とする。
- 長期ビジョンスローガンを例会にて掲示する。

※ビジョン推進会議の設置

2022年に中間答申として2020年、2021年における事業に対する検証を行う。2023年、2024年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョンの達成した点、達成できなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

IV 委員会活動報告

会員研修委員会

中 村 彰 宏

本年度は岡山青年会議所の根幹となるひとづくり室を、副理事長兼会員研修委員会委員長という立場で運営させていただきました。また前期新会員及び後期新会員、そして大変心強いスタッフとともに一年間の活動を有意義に取り組むことができました。

礼儀礼節や利他の精神を大切に、修練を重ねることで自立したリーダーを育成することを目的に、基本方針として自発的に挑戦し、率先して行動を起こすことができる人材の育成に重きを置いた活動を展開しました。今年も新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しながらの活動にはなりましたが、その時にできる最善の形を判断しながらプログラムを進めることができたと感じております。その中で様々な考え方もったメンバーが、与えられた課題に取り組む過程において濃密な時間を共有することで真の友情を培い、共助の精神とリーダーシップを醸成するという目的にも達することができたと実感しております。

特別会員そして現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会の活動に対してご指導ご鞭撻を賜りましたことに衷心より厚く御礼を申し上げます。委員会メンバーが引き続き地域に貢献できる人材に成長できるよう、見守ってまいります。一年間、ありがとうございました。

こどもまちづくり委員会

津 島 周 史

本年度、こどもまちづくり委員会では「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、「キッズスポーツパーク」「未来へと繋がるこども塾」「キッズスペースパーク」の三つの事業の実施、防災担当の委員会としての活動、さらには実際の事業とは至りませんでした、「キッズビジネスパーク」の運用の協力をいたしました。その中で、どの事業でも意識したこととしては現代の様なテスト式による正解のある教育ではなく、問題を自ら発見し、解決に導く能動的な能力を得られるような事業を目指しました。こども達に自ら考えてもらうために、実際に自分が見たり、触れたり、感じることでできる体験型の事業としました。

「キッズスポーツパーク」ではIPU・環太平洋大学の協力のもと、様々なスポーツ体験や運動能力の測定の事業を実施し、約200人のこどもが参加しました。「未来へと繋がるこども塾」ではベネッセコーポレーションの協力のもと、犬島という高齢化や海洋問題などの社会課題を感じてもらい、実際に自分でまちの課題を解決するプログラムを実施し、52名のこどもが参加しました。「キッズスペースパーク」では岡山理科大学やJAXAなど10を超える宇宙に関わる団体の協力のもと、様々な宇宙体験を実施し、約300人のこどもが参加しました。

三つの事業を実施させていただいたことは委員会メンバーにとって、多くの成長の機会をいただき、さらには委員会の絆も深まる契機となりました。1年間、本当にありがとうございました。

おとなまちづくり委員会

青 山 雅 史

本年度、石井理事長より理事委員長を拝命し、「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、岡山青年会議所の新設委員会として新たな挑戦をして参りました。

まず、子育て世帯における相対的貧困の一端に「体験の格差」があるという現状から「親子で行く！瀬戸内クルーズ」を提案。フェリーで瀬戸内海を周遊し、180名（70世帯）の方に非日常体験をしていただくことが実現しました。行政や後援企業との連携、メディア取材もあり、前述の現状について広く認知される機会になったと考えます。次に、多様な性の在り方を理解するために「LGBTQ」事業を構築。当事業ではまず、例会に講師を招聘することにより我々会員の知識を深めました。また、イメージカラーである虹色の懸垂幕を岡山市へ寄贈し、同市役所に設置。経営者へ向けたセミナーには160名の方に参加いただき、企業が取り組むべき課題を再認識することができたと考えます。そして、岡山の街にも活力を取り戻したいという願いから「まちなか屋上サウナ」を企画。岡山高島屋協賛のもと、2日間計180名の参加によって盛況を呈しました。岡山市中心部で時代に沿った事業を行うことで若者の事業発信の起爆材となり、持続可能なまちづくりへ前進できたと考えます。

最後に、このような機会を与えて下さった石井理事長、ご指導いただいた安部副理事長、畑常任理事、そして多くのご支援ご協力を賜りました委員会メンバーをはじめ、特別会員、現役会員の皆様には心より感謝を申し上げ、本年度の活動報告とさせていただきます。

地域経済連携委員会

眞 殿 昌 宏

本年度石井理事長より理事委員長を拝命し、幡山副理事長、高島常任理事にご指導いただきながら委員会メンバーと共に活動して参りました。本委員会は、地域の企業や大学との連携をはじめ、人と人、人と企業を結び付け、地域の経済を活性化させるという目的で2021年に初めて創設されました。今年は2年目という事で自由度も高く、本年度石井理事長が掲げられるスローガンの様に挑戦できる委員会として、二つの事業を開催させていただきました。

「シゴトカレッジ2022」では、岡山県内の学生が企業の成り立ちの基礎を、ビジネスゲームを通して楽しく学び、それをもとに青年会議所メンバーの企業分析から新事業への提案と様々な角度で「シゴト」を学ぶ事業を構築いたしました。「岡山の空を照らす大花火連携プロジェクト」では、岡山の地域経済をけん引し活躍する若手青年団体と連携をはかり8月20日のうらじゃ祭りの同日に岡山県内同時10カ所1万1千発のサプライズ花火を打ち上げ翌日には山陽新聞の朝刊に事業が掲載されました。地元の企業82社からご協賛もいただくことができ、今後の岡山青年会議所のブランディングと認知度向上にも繋がる一助になったのではないかと思います。

この二つの事業を通して岡山青年会議所のまちに与える影響やメンバー同士の団結力、素晴らしさを改めて感じ、このような経験と機会を与えていただきました石井理事長をはじめとする岡山青年会議所の特別会員、メンバー、協力いただいた皆様にはこの場をお借りして感謝を申し上げ委員会の活動報告とさせていただきます。

地域道徳向上委員会

平 井 秀 和

本年度、石井理事長より地域道徳向上委員会、理事委員長職を拝命し「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、おかやまのまちに道徳心を醸成させることを目標に新設委員会として様々な事業に挑戦させていただくことが出来ました。

郷土おかやまを誇りに思う道徳心を醸成するために、山陽新聞社様の鬼詣アプリを活用し岡山県内の魅力的なスポットを楽しみながら巡っていただくことで、今まで知らなかった各地の魅力や歴史を学ぶ「ディスカバーウォーク2022」。学芸館高校様、教育委員会様にご協力いただき、親子で農業を体験する機会を創出することにより「自然に感謝し、畏敬の念を持つ」「家族の絆」「命をいただく感謝の心」を学ぶ「わくわくファーム2022」。岡山市が現在取り組んでいる保護動物殺処分ゼロの活動を多くの市民に周知していただくこと、またこの取り組みを持続可能なものにするべく、岡山市、岡山県獣医師会様、岡山青年会議所と3団体連携協定を結ばせていただいた「岡山の誇る道徳心、命の尊さ～殺処分ゼロ運動～」。

どの事業においても産学官、そして多くの市民を巻き込みながら今までにない活動を展開することができ、岡山のまちに新たな岡山青年会議所の価値を示すことが出来たのではないかと感じております。最後になりますが、このような機会を与えていただきました石井理事長、共に1年間全力で取り組んでくれた委員会メンバー、岡山青年会議所会員の皆様、支え導いてくださった幡山副理事長、高島常任理事、ご支援ご協力を賜りました特別会員の皆様に心より御礼を申し上げ、1年間の活動報告とさせていただきます。

渉外委員会

小 西 秀 斉

本年度、渉外委員会の理事委員長を拝命し、石井理事長の掲げられる「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、友好LOMとの交歓会やLOMナイトなど、数々の事業を実施させていただきました。

近年コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業が思うように実施できない中、委員会メンバー一丸となり挑戦を意識した事業を展開することができ、私自身はもちろんのこと、スタッフ、メンバーにも成長の機会を与えられたものと自負しております。これもひとえに、石井理事長の強力なリーダーシップ、またLOMメンバーの皆様のご理解とご協力の賜物であると心から感謝申し上げます。

また本年度は新しい取り組みとして、姉妹締結57周年を迎える台南青年会議所様との交流を図らせていただきました。長い間交流の途絶えていた姉妹LOMとの交流を再開させることで、先輩諸兄が紡いできた絆と友好の歴史に触れさせていただき、改めて青年会議所活動の意義を体感させていただくとともに、今後も続いてゆく成長の契機となる出会いの場の創出に寄与できたものと確信しております。

結びになりますが、石井理事長をはじめとされます執行部の皆様、ご指導を頂きました加藤副理事長、前田常任理事、そして一年間支えていただきました委員会メンバーに心より感謝を申し上げ、本年度の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

うらじゃ委員会

三 垣 章 一

3年ぶりに開催することができた第27回「うらじゃ」は通年より規模を縮小しての開催となりました。会場数の減少を与儀なくされ、参加踊り連数は52連と最盛期と比較すると半分以下となりました。それでもコロナ過により3年間披露することができなかった踊り子達の演舞は「おかやま」に笑顔と感動を届けていただけました。連携した諸団体の皆様からは「うらじゃ」が開催してくれたから他団体が運営する事業もすべて開催することができたなど多くの感謝の言葉をかけていただきました。最盛期に比べれば見劣りしてしまう内容だったかもしれませんが「おかやま」の夏の風物詩としての「うらじゃ」は復活したと手応えを感じています。

今後は減少してしまった踊り連数や観客数を増やすこと「うらじゃ」振興活動が重要となります。幼い頃から「うらじゃ」を身近に感じることができる仕組みを「おかやま」に創り出し、来たる第30回開催に向けた準備が必要です。本年度はJCI岡山より事業費をいただく振興活動は実施しませんでした。以前より取り組んでいる「うらじゃ自販機」の設置やユニクロさんの運営する「UTme!」にてオリジナルデザインTシャツの販売にチャレンジさせていただきました。結果が出るのはまだ先のことになりますが事業費をいただかなくても地域の企業と連携し「うらじゃ」の普及振興活動を行うことができました。委員会メンバーと共に試行錯誤を繰り返した非常に学び多き一年間を過ごさせていただきありがとうございます。

例会委員会

妹 尾 愛 希

本年度、石井理事長より交流推進室例会委員会の理事委員長を拝命し「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと会員同士の交流と学びや気付きを得ることができる例会の設営を行いました。本年は対面とZOOMを用いたハイブリッド開催など、柔軟な発想を用いながら緊張感のある例会を実施してまいりました。対面開催では、徹底した感染予防及び抗原検査をすることでより安心して出席をしていただける設営を心掛けました。市民公開例会では、岡山の魅力を再認識していただく為「首都岡山」をテーマに「首都感染」の著者である高嶋哲夫氏と地元企業代表として先輩である平林実先輩を講師にお招きし、講演会を行いました。市民の皆様が岡山の魅力を再認識できる講演会となったと感じています。その他にも岡山ブロック会長公式訪問例会やOB合同例会、さよなら例会など多くの例会を実施させていただきました。どのような場面でも緊張感をもち会員同士の交流と学びの場を提供し続けるという強い信念で1年間活動してまいりました。このような機会を与えていただいた石井理事長、交流推進室を担当していただいた大岩副理事長をはじめ、例会実施に際しましてご理解とご支援をいただいた現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして何より、様々な状況下でも常に前向きに率先して活動を続けてくれた委員会メンバーと多くのご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様により感謝申し上げます1年間の報告とさせていただきます。

親睦委員会

山 畑 和 久

本年度、石井理事長より交流推進室親睦委員会の理事委員長を拝命し、「CHALLENGE!! OKAYAMA」のスローガンのもと、真の友情を育むことが出来る良質な機会を能動的に創造するという新設委員会に挑戦させていただくことができました。

1月に開催された特別会員・現役会員合同新年式典ではコロナウイルスも完全には終息しておらず、先行きが危ぶまれる中ではありましたが、「リスクを取ってでも挑戦する1年にしていく」という想いを胸に委員会メンバーは丸となり準備を進めて参りました。また、開催にあたり連日多くの方にご協力いただいたことで、滞りなく式典が進行できたこと心より感謝申し上げます。

会員同士の親睦を深める事業では、一生忘れることの出来ない思い出と、生涯ほどけることの無い絆の創造を目標に事業を構築していきました。年齢や歴、役職や委員会などの枠を飛び越えた交流を促す機会を創造することで、新たな友情が深まり、会員相互の団結力を培うことができました。

最後になりますが、このような機会を与えていただきました石井理事長、ご指導いただきました大岩副理事長をはじめ、親睦事業に際しましてご理解とご支援をいただきました現役会員の皆様により感謝申し上げます。そして何より、会員相互の親睦を願い日々活動してくれた委員会メンバー、多くのご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様に感謝を申し上げ、1年間の活動報告とさせていただきます。

総務・広報委員会

大 塚 真 弘

本年度、石井理事長より理事委員長を拝命し、大森専務理事、本多常任理事の元、委員会メンバーと共に活動して参りました。扇の要である本委員会は、日々変化する社会情勢に合わせて、青年会議所の運営がコンプライアンスを遵守して進められるように日々努めてまいりました。また、今年度実施した各委員会の事業をより多くの地域の方々に認知していただくため、広報誌・SNS・HPを使った情報発信と、自治体や各種メディアとの連携を1年間通して積極的に行ってきました。

今年度、2回にわたって実施した「DXセミナー」では、急速に進む技術革新について学び、成功事例を交えることで、社業のDX化が如何に重要なのかを学ぶことができました。郷土おかやまの経済発展を引っ張っていく人材育成の場として、非常に有意義な事業になったと感じております。

結びになりますが、岡山青年会議所の中心に立ち、広い視点で全委員会の事業について考える機会を与えられた委員会メンバーは、多くの学びを得ることができました。石井理事長、大森専務理事、本多常任理事に改めて感謝申し上げます。また、最後まで惜しみない協力で委員会を支えてくれたメンバー、そしてご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様により感謝を申し上げ、委員会の活動報告とさせていただきます。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時：2022年3月9日（水）18時15分

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：121名

出席した会員数：121名

内 訳 本 人出席：98名

委任状出席：23名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 事業報告（案）承認の件

第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 決算報告（案）承認の件

■第2回定時総会

開 催 日 時：2022年7月6日（水）17時45分

開 催 場 所：ホテルメルパルク岡山 例会会場

総 会 員 数：127名

出席した会員数：119名

内 訳 本 人出席：112名

委任状出席：7名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 外部監事（案）承認の件

第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事選任及び理事長の推薦（案）承認の件

■第3回定時総会

開 催 日 時：2022年7月20日（水）18時50分

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：127名

出席した会員数：124名

内 訳 本 人出席：111名

委任状出席：13名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦（案）承認の件

■第4回定時総会

開 催 日 時：2022年8月3日（水）19時00分

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：127名

出席した会員数：124名

内 訳 本 人出席：106名

委任状出席：18名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事の選任（案）承認の件

■第5回定時総会

開 催 日 時：2022年12月21日（水）18時

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：126名

出席した会員数：110名

内 訳 本 人出席：110名

委任状出席：16名

- 【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 事業計画（案）承認の件
第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 収支予算（案）承認の件
第3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 組織図（案）承認の件

2. 理 事 会

■第1回 執行部・理事合同会議

日 時：2022年1月6日（木）17:00～18:00

場 所：JCルーム

審議事項

- (1) 会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦人3名以上の推薦者（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 前期入会者予定者名簿（案）承認の件
- (3) 公益社団法人日本青年会議所 2022年度 出向者（案）承認の件
- (4) 全国城下町青年会議所連絡協議会2022年度 出向者（案）承認の件

■第2回 理事会

日 時：2022年2月14日（月）19:00～21:00

場 所：WEB会議

審議事項

- (1) おかやま青少年育成スポーツ事業の事業計画（案）承認の件
- (2) 親睦企画の事業計画（案）承認の件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 決算資料（案）承認の件
- (4) 一般財団法人日本プロスピーカー協会 おかやま桃太郎支部 設立4周年記念講演会 協賛依頼（案）承認の件

■第3回 理事会

日 時：2022年3月14日（月）19:00～21:00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールE

審議事項

- (1) 特別会員・現役会員合同新年式典の事業報告（案）承認の件
- (2) 青少年未来創造プロジェクトの事業計画（案）承認の件
- (3) 親子での体験を通じた人材育成の事業計画（案）承認の件
- (4) 岡山を輝かせる連携事業の事業計画書（案）承認の件
- (5) 家庭倫理醸成事業2022の事業計画（案）承認の件
- (6) DXセミナーの事業計画（案）承認の件
- (7) 「ゴールデンフェスタ岡山2022」事業の後援依頼（案）承認の件

■第4回 理事会

日 時：2022年4月11日（月）19:00～21:00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールA

審議事項

- (1) 親子での体験を通じた人材育成の修正事業計画並びに修正予算（案）承認の件

■第5回 理事会

日 時：2022年5月16日（月）19:00～21:00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールA

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 理事長選挙管理委員会メンバー（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 前期新会員 委員会配属（案）承認の件
- (3) 京都会議出向者支援LOMナイトの補正事業計画並びに補正収支予算（案）承認の件
- (4) 休会願い（案）承認の件

■第6回 理事会

日 時：2022年6月13日（月）19：00～21：00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールD

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 外部監事（案）承認の件
- (2) 京都会議出向者支援LOMナイトの事業報告（案）承認の件
- (3) 親睦企画の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (4) 親睦企画の事業報告（案）承認の件
- (5) 家庭倫理醸成事業2022の修正事業計画（案）承認の件
- (6) 未知の魅力発見プロジェクトの事業計画（案）承認の件
- (7) 休会願い（案）承認の件

■第7回 執行部・理事合同会議

日 時：2022年7月6日（水）14：30～15：30

場 所：ホテルメルパルク岡山 芙蓉

審議事項

- (1) 会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦人3名以上の推薦者（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 後期入会者予定者名簿（案）承認の件
- (3) 社会における格差を無くし新たな価値観を広める事業の事業計画（案）承認の件

■第8回 執行部・理事合同会議

日 時：2022年7月20日（水）15：00～17：00

場 所：岡山国際ホテル 別館 瑞光の間

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度役員選挙管理委員会 投票によって選任される2023年度理事の定数（案）承認の件
- (3) 社会における格差を無くし新たな価値観を広める事業の事業計画（案）承認の件
- (4) 岡山を輝かせる連携事業の修正事業計画並びに修正予算（案）承認の件
- (5) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会の事業計画（案）承認の件

■第9回 理事会

日 時：2022年8月17日（水）19：00～21：00

場 所：WEB会議

審議事項

- (1) 第48回一般社団法人津山青年会議所・公益社団法人岡山青年会議所交歓会（案）承認の件
- (2) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会の事業計画（案）承認の件

■第10回 理事会

日 時：2022年9月12日（月）18：30～20：30

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールF

審議事項

- (1) おかやま青少年育成スポーツ事業の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (2) おかやま青少年育成スポーツ事業の事業報告（案）承認の件
- (3) 親子での体験を通じた人材育成の事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (4) 親子での体験を通じた人材育成の事業 事業報告書（案）承認の件
- (5) 岡山の未来を創る人材育成事業の補正事業計画並びに補正収支予算（案）承認の件
- (6) 岡山の未来を創る人材育成事業の事業報告（案）承認の件
- (7) キッズビジネスパーク2022開催に伴う後援名義貸与及び協賛依頼（案）承認の件
- (8) 市民公開例会の事業計画（案）承認の件

■臨時理事会

日 時：2022年9月15日（木）17：00～18：00

場 所：岡山国際ホテル 本館3階 松琴

審議事項

(1) 市民公開例会の事業計画（案）承認の件

■第11回 理事会

日 時：2022年10月12日（水）14：00～16：00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールB

審議事項

(1) アフターコロナに対応した地域活性化の事業計画（案）承認の件

(2) 動物倫理向上事業の事業計画（案）承認の件

■第12回 理事会

日 時：2022年11月21日（月）19：00～21：00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールB

審議事項

(1) 青少年未来創造プロジェクトの補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(2) 青少年未来創造プロジェクトの事業報告（案）承認の件

(3) おかやまの魅力・歴史再発見事業の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(4) おかやまの魅力・歴史再発見事業 事業報告（案）承認の件

(5) さよなら例会の事業計画（案）承認の件

(6) 親睦大懇親会の事業計画（案）承認の件

■第13回 執行部・理事合同会議

日 時：2022年12月15日（木）18：00～20：00

場 所：杜の街グレース オフィススクエア 貸し会議室 3F ホールD

審議事項

(1) 2022年度後期新会員 委員会配属（案）承認の件

(2) 未知の魅力発見プロジェクトの補正事業計画（案）並びに補正予算（案）承認の件

(3) 未知の魅力発見プロジェクト 事業報告（案）承認の件

(4) 岡山を輝かせる連携事業の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(5) 岡山を輝かせる連携事業の事業報告（案）承認の件

(6) 家庭倫理醸成事業2022の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(7) 家庭倫理醸成事業2022の事業報告（案）承認の件

(8) 第48回一般社団法人津山青年会議所・公益社団法人岡山青年会議所 交歓会の補正事業計画並びに補正収支予算（案）承認の件

(9) 第48回一般社団法人津山青年会議所・公益社団法人岡山青年会議所 交歓会の事業報告（案）承認の件

(10) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(11) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業報告（案）承認の件

(12) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会の補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(13) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会の事業報告（案）承認の件

(14) DXセミナーの補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件

(15) DXセミナーの事業報告（案）承認の件

(16) 2023年度収支予算（案）承認の件

(17) 2023年度基本資料（案）承認の件

VI 例 会

| 開催日 | 会 場 | 出席者 | 記 事 |
|--------|--------------------------------|------|------------------------------------|
| 1月12日 | 岡山国際ホテル | 115名 | 特別会員・現役会員合同新年式典 新会員バッジ授与式 |
| 2月 9日 | 岡山国際ホテル | 122名 | 新会員バッジ授与式 新会員3分間スピーチ |
| 3月 9日 | 岡山国際ホテル | 121名 | 第1回定時総会 前期新会員コミュニティ |
| 3月25日 | 岡山国際ホテル | 110名 | ブロック会長公式訪問例会 |
| 4月 9日 | 岡山ドーム | 98名 | 企画例会・親睦大運動会 |
| 5月11日 | 岡山国際ホテル | 107名 | |
| 6月 8日 | 岡山国際ホテル | 102名 | 新会員配属コミュニティ |
| 7月 6日 | ホテルメルパルク岡山 | 124名 | 第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式 |
| 7月20日 | 岡山国際ホテル | 122名 | 第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ |
| 8月 3日 | 岡山国際ホテル | 123名 | 第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ |
| 9月 7日 | 岡山国際ホテル | 112名 | 後期新会員コミュニティ 企画セミナー |
| 9月21日 | 岡山国際ホテル | 110名 | 特別会員・現役会員 合同例会・懇親会 後期新会員アトラクション |
| 10月12日 | おかやマイオンモール 未来ホール | 107名 | 市民公開例会 |
| 11月16日 | プラザホテル岡山 | 103名 | 出向者報告 |
| 12月 7日 | REST& EVENT HALL フォーティーン | 112名 | さよなら例会 |
| 12月21日 | 岡山国際ホテル | 110名 | 第5回定時総会 |

Ⅶ 諸 事 業

| 開 催 日 | 記 事 |
|-------------|---|
| 1月 6日 | 新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶まわり |
| 1月12日 | 新年式典（岡山国際ホテル） |
| 1月20日～23日 | 京都会議（WEB開催） |
| 4月17日～18日 | 日本J C ジャがいもクラブ西日本地区大会（鬼ノ城ゴルフ倶楽部） |
| 5月 4日 | 親子で瀬戸内クルーズ（おりんぴあドリーム） |
| 5月18日 | DXセミナー「変革への挑戦」（杜の街グレース オフィスクエア） |
| 5月21日 | キッズスポーツパーク（IPU・環太平洋大学） |
| 5月26日～29日 | ASPAC 堺高石大会 |
| 6月 4日 | シゴトカレッジ2022 1日目（各体験職場） |
| 6月 5日 | 2022年度ブロックアカデミー（倉敷ファッションセンター） |
| 6月11日 | シゴトカレッジ2022 2日目（IPU・環太平洋大学） |
| 6月18日 | わくわくファーム2022 米田植え体験（岡山学芸館高等学校） |
| 6月18日～19日 | 中国地区コンファレンス（島根県民体育館他） |
| 6月27日 | シゴトカレッジ2022 3日目（IPU・環太平洋大学） |
| 7月 1日～8月31日 | 再発見おかやま！！ ディスカバーウォーク2022 |
| 7月 2日 | 第58回岡山ブロック大会（西大寺） |
| 7月 3日 | 未来へ繋がるこども塾～まちづくり編～（犬島） |
| 7月 9日 | シゴトカレッジ2022 4日目（各体験職場） |
| 7月16日～17日 | サマーコンファレンス2022（ハイブリッド開催） |
| 7月23日 | シゴトカレッジ2022 5日目（IPU・環太平洋大学） |
| 7月30日 | わくわくファーム2022 野菜収穫体験（株式会社いぶき） |
| 8月20日～21日 | 第27回うらじゃ |
| 8月20日 | 岡山の空を照らす大花火連携プロジェクト（岡山市内10カ所） |
| 8月27日 | 観光地クリーン運動（石山公園周辺） |
| 9月 3日 | 岡山ブロック会員交流事業（宮本武蔵顕彰 武蔵武道館） |
| 9月 7日 | LGBTQセミナー（岡山国際ホテル） |
| 9月 8日 | 高松交換会 |
| 9月15日 | 津山交歓会 |
| 10月 1日 | キッズスペースパーク（岡山理科大学） |
| 10月 7日～10日 | おおいた全国大会（大分市内各所） |
| 10月11日 | LGBTQセミナー（さん太ホール） |
| 10月12日 | 市民公開例会「首都岡山 ～東京一極集中の打開策～」（おかやまイオンモール 未来ホール） |
| 10月30日 | わくわくファーム2022 米稲刈り体験（岡山学芸館高等学校） |
| 11月 5日 | 市民活性化計画 ～テントサウナ～（岡山高島屋屋上） |
| 11月 7日 | DXセミナー「変革への挑戦」（杜の街グレース オフィスクエア） |
| 11月18日 | J C I 台南・J C I 岡山 締結57周年継続締結調印式（台南） |
| 11月25日 | LGBTQセミナー（イシカワホールディングス株式会社） |
| 12月 7日 | さよなら例会（REST&EVENT HALL フォーティーン） |
| 12月16日 | 殺処分ゼロのまち「岡山」 調印式（岡山市役所） |
| 12月21日 | Fantasy X'mas ～光が包む笑顔の時間～ |

VIII 褒賞関係

1. 褒賞委員会

最優秀委員会 地域経済連携委員会
優秀委員会 おとなまちづくり委員会、総務・広報委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

石井 聖至、小林 佑輔、井戸 啓太、二垣 幸広、中村 彰宏、安部 真良、
幡山 益聖、加藤 高明、大岩 裕季、大森 将平、前田 淳、本多 高明

【会員研修委員会】

金丸 俊孝、本郷 昌一、梶谷 拓史、立川 圭亮、藤井 彰一、舟木 康平、
藤澤 謙

【こどもまちづくり委員会】

竹中 広太、倉元 宏光、池田 稔、矢野 修

【おとなまちづくり委員会】

青山 雅史、中西 大輔、滝波 深介、澤村 賢太

【地域経済連携委員会】

眞殿 昌宏、五十嵐尚輝、藤原由季子、渡邊 陵太、岡野 涼子、福本 初美、
森上 真夢、藤田 卓也

【地域道徳向上委員会】

平井 秀和、大北大士郎、大塚 充、田中 康一、梶岡 洋佑、片岡 大地、
岩田 優樹

【渉外委員会】

小西 秀齊、諏訪 智彦、松田 篤郎

【うらじゃ委員会】

三垣、章一、国司田孝介、國代 健介、立岡 海人、田中康次朗

【例会委員会】

實成 忠、野本 智也、瀧崎 純、福永 涼人、増田 亮治、山田 健二

【親睦委員会】

山畑 和久、竹内 優子、宮廻 孝史、大西 悟史、山崎 洋介

【総務・広報委員会】

大塚 真弘、綾部 系一、久保 和裕、服部 悟、川口 修司、岡田 有造、
岸本 啓吾、坂本 雅樹、杉岡 裕、井上玉丹穂

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同土を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

